

**早稲田大学大学院日本語教育研究科**  
**修士課程コースⅡ（現職社会人コース）科目履修について**

## 1. 研究指導

毎学期、指導教員の研究指導を受ける。1 期目は、研究科が指定した指導教員の研究指導を受ける。2 期目以降は、1 期目終了時に学生の希望に基づいて決定した研究指導教員からの研究指導を受ける。3 期目以降（復職後）は、個別に指導教員と連絡を取り、対面あるいはメール、Skype 等で指導を受ける。指導教員の変更を希望する場合は、毎学期定められた期日までに「研究指導教員変更申請書」を提出し、日研運営委員会の承認を得ることによって、変更することができる。

## 2. 科目履修

### （1）日本語教育学演習

1～2 期目に 4 科目を履修し、計 8 単位を修得する。

1 期目：演習Ⅰ（全専任教員が担当／選択の必要なし）

演習Ⅱ（希望する教員の担当する演習を選択）

2 期目：演習Ⅲ（希望する教員の担当する演習を選択）

演習Ⅳ（希望する教員の担当する演習を選択）

### （2）日本語教育実践研究

1～2 期目に日本語教育実践研究（1）～（16）から 2 科目以上、3 期目に日本語教育実践研究（18）、計 9 単位以上履修する。同一学期に 2 科目までの履修を認める。

日本語教育実践研究（1）～（16）は、設置された曜日・時限のほかに、担当教員が指定する実習クラス（日本語教育研究センター設置科目等）での参観・実習等が義務付けられるため、実習クラスと同一曜日・時限の他科目の重複履修は認められない。各科目の実習クラスの曜日・時限等は、各科目のシラバス及び時間割を参照すること。

日本語教育実践研究（18）は、所属の職場における実践であり、指導教員による 15 回の対面または遠隔指導（Skype 等を利用）を受ける。

海外大学における実践科目である日本語教育実践研究（17）を履修する場合は、履修形態がコースⅡ（現職社会人対象）からコースⅠに変更となる。希望する場合は事前に相談すること。

### （3）日本語教育学理論研究

1～2 期目の間に、計 10 単位以上を履修する。

同一学期での登録科目数の制限は特に設けない。

日本語教育実践研究の実習クラスとの曜日・時限の重複は認められない。

### （4）自由選択科目

1～2 期目の間に、3 単位以上履修する。

日本語教育学理論研究及び日本語教育実践研究の修了必要単位数を超えた分、また「他研究科設置科目」「大学院全学共通設置科目」から履修する。

<履修モデル>

| 区分         | 1 年  |      | 2 年  |      | 必要単位数            |
|------------|------|------|------|------|------------------|
|            | 1 期目 | 2 期目 | 3 期目 | 4 期目 |                  |
| 日本語教育学演習   | 4 単位 | 4 単位 | —    | —    | 8 単位（2 単位×4 科目）  |
| 日本語教育実践研究  | 3 単位 | 3 単位 | 3 単位 | —    | 9 単位（3 単位×3 科目）  |
| 日本語教育学理論研究 | 6 単位 | 4 単位 | —    | —    | 10 単位（2 単位×5 科目） |
| 自由選択科目     | 3 単位 |      | —    | —    | 3 単位             |
| 合計         |      |      |      |      | 30 単位            |

### 3. 修士論文(<https://www.waseda.jp/fire/gsjal/student/thesis/>)（詳細は日研 HP 参照）

（1）中間発表（1 期目）

演習Ⅱの学期後半の 12・13・14 週合同ゼミにて中間発表を行う。中間発表資料は前週水曜日 23:59 までに MyWaseda 申請フォームにて提出する。

（2）2 期目研究ノート提出（2 期目）

中間発表を踏まえて、2 期目研究ノートを以下の期日までにメールあるいはコースナビで指導教員へ提出する。具体的な手順等については指導教員に確認する。

【提出締切日】3 月 20 日 23:59 厳守

（3）3 期目論文提出（3 期目）

修士論文を見据えて、3 期目論文を以下の期日までに MyWaseda の BOX へ提出する。なお、3 期目論文をもとに、修士論文主査・副査が決まる。

【提出締切日】9 月 20 日 23:59 厳守

（4）修士論文提出（4 期目）

3 期目論文が提出されていることを条件に、修士論文を所定の日時に提出する。

体裁が整っていない場合、必要な書類が不足している場合は、いかなる理由であっても受理することができないので注意する。なお、5 月下旬より日研事務所に論文カバー等を配布するので必ず取りに来ること。

（5）口頭試問

所定の日時に早稲田キャンパスにて口頭試問を実施する。

**注)所定の日時に大学にお越しいただくことになりますので業務をご調整ください。**

（6）修士論文の可否

修士論文の可否判定結果は、日研 WEB 掲示板にて発表する。

### 4. その他

出願後～第 3 期の間に職場や職場における事情が変わり、出願時に予定していた職場における日本語教育に関する実践活動（＝「日本語教育実践研究（18）」）ができなくなった場合は、速やかに当研究科に申し出ること。場合によっては履修形態がコースⅠに変更となる場合がある。